

今年度も6月から、ごみステーションパトロールを実施しました。暑い中たくさんの方々に参加していただきありがとうございました。その中で特に多く寄せられた質問を紹介します。

ステーションパトロール？

こんなごみどうするの



その1 取れない取っ手

Q フライパン、包丁等の取っ手が取れない(分別できない)物はどうすればいいの？

A 中にはドライバー等で簡単に取れる物もありますが、取れなければそのまま金属類の日に持ち出してください。



その2 はがせないラベル



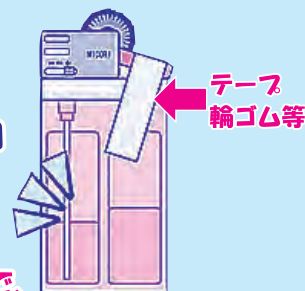
Q 容器包装フラ、ペットボトル、ビン類で、糊づけされたラベルはどうすればいいの？

A 簡単に取れるものは取ってください。どうしても取れないものはそのまま持ち出してください。

その3 使い捨てライター

Q ガスが残った100円ライターを処分したいのですがどうすればいいの？

A ガスが残ったままだと発火の恐れがあり、持ち出すことはできません。必ず通常の使用方法で使い切ってから燃えるごみの日に持ち出してください。



ガスが残っている状態で不要になった場合は、周囲に火の気のない風通しのよい屋外で、着火レバーを押し下げ(着火した場合は吹き消す)図のようにテープ、輪ゴムでレバーを固定し半日ほど置けばガスはなくなります。

その4 見えない中身



Q 容器包装フラで、歯磨きチューブのような中身が見えなく、汚れ具合が確認できないごみはどうすればいいの？

A 中身が見えなく汚れが確認できない容器包装フラは燃えるごみとして持ち出してください。

その5 汚れの基準

Q 容器包装フラはどれくらいきれいにすればいいの？

A リサイクルされる容器包装フラは必ずきれいでなければなりません。簡単に中味が抜け切れない、さっと洗ってもきれいにならないものは燃えるごみとして持ち出してください。



ごみ減量20%大作戦は6年目を迎えました。平成19年度の作戦開始当時、ごみは大きく減量しましたが、近年、再び増加傾向を示しています。分別マナーも徹底していません。ステーションパトロールを通じて、もう一度、我が家のごみ分別を見直しましょう。